

科目名	西洋美術史Ⅱ				区分	共通基礎科目	
担当者	田中 久美子						
学年	1年次以上	単位	2単位	期別	後期	授業形態	講義

授業の概要	西洋美術史Ⅰでの内容を確認したのちに、とくに19世紀から1950年までの西洋美術史の流れを中心に概観する基礎的な通史。 ただし、単なる編年的な歴史概論ではなく、イメージの形、意味、機能、受容、流通のさまざまなあり方を、当時の時代・文化・社会の網目の中で多層的に捉えつつ、イメージそのもの、あるいは美術史という学問自体がはらんでいるさまざまな問題をとともに考えていきます。						
到達目標1	知識・理解：美術の流れを理解し、作品の鑑賞の仕方を身につけることができる。						
到達目標2	態度・意欲：調べる力・考える力・書く力を身につけることができる。						
到達目標3							
到達目標4							
到達目標5							
DPと授業科目の関連	DP1／DP3						
授業の方法 (7カティフ・ラーニングの要素)	理解度確認テスト／振り返り・コメントシート						

回数	授 業 計 画	授業外の学習課題と時間（時間）	
1	はじめに／古代から初期ルネサンス美術まで	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
2	盛期ルネサンスからロココ美術まで	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
3	19世紀写実主義の美術、近代風景画の発展	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
4	印象主義の美術Ⅰ	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
5	印象主義の美術Ⅱ	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
6	ジャポニズム	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
7	ポスト・インプレッショニズム	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
8	アカデミズムとサロン絵画	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
9	19世紀の彫刻	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
10	象徴主義と世紀末美術	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
11	装飾美術とアール・ヌーヴォ	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
12	キュビズムとピカソ	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
13	フォーヴィズムとマティス	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
14	エコール・ド・パリ	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間
15	ダダイズム、シュルレアリズム、抽象主義	授業で学んだ作品を画集で確認する	4 時間

授業時間外学習 学習上の注意	パワーポイントを用いて授業を行う。 授業内容の理解を深めるために、授業で扱う範囲の芸術作品を図書館などを利用して画集で確認すること。 展覧会には積極的に足をはこんでください。
-------------------	---

成績評価の方法	成績評価の方法		内 容	到達目標との関連
	平常点（参加状況、小テスト、課題提出）	40%	授業内容の理解、適切な調査・資料の分析、課題に向かう姿勢	1／2
	レポート	60%	課題条件、十分な調査・考察、文体・形式などの体裁が整っているかどうか	1／2

使用教材等	教科書は使用しませんが、適宜プリントを配布します。
テキスト	

履修条件・留意事項等	※単位取得には3分の2以上の出席が必要です。 欠席の回数、授業内／外の課題の未提出は、これらを点数換算し、成績評価の参考にします。
------------	--